

質問に対する回答書について

工事名) 仙台北部道路 成田高架橋他 1 橋 (鋼上部工) 工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	本工事において、土木工事積算基準は令和 6 年度版と令和 7 年度版のどちらを適用しているかご教示願います。	土木積算基準を適用する場合は、令和 6 年度版を参考にしてください。
2	本案件に適用する物価資料の採用単価年月をご教示願います。	土木工事積算基準 第 1 編 総則「3. 工事費の積算」(4) のとおりです。
3	本工事において当初より複数班施工を想定されている工種がございましたら、工種ならびに班数をご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社の施工計画に基づき、お考えください。
4	石積高架橋 設計図 図面番号 1/130 「石積高架橋 設計図」ー図面番号 1/130「石積高架橋 数量総括表」の<上部工>「コンクリート」ー「P2-2」の「床版部 (1,025.7m ³)」について、「仙台北部道路 成田高架橋他 1 橋基本詳細設計 第 6 編 石積高架橋基本詳細設計 #6-3 上部工数量計算書 令和 5 年 9 月」ーP182「石積高架橋 PC 床版数量」のコンクリート数量は 1,024.482m ³ であり、数量総括表と 1.218m ³ 分数量が異なります。こちらの 1.218m ³ 分のコンクリートは施工上どちらの箇所に該当するのでしょうか。ご教示願います。	設計図書に示すとおり、石積高架橋の上部工床版部のコンクリート P 2-2 は、1,025.7m ³ を正としてお考えください。
5	本工事における排水装置の施工費及び材料費について、当初未計上としており、設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	詳細設計完了後に設計変更協議対象として考えております。
6	本工事における検査路の施工費及び材料費について、当初未計上としており、設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	詳細設計完了後に設計変更協議対象として考えております。

番号	質問事項	回 答
7	石積高架橋 設計図 図面番号 118/130 「石積高架橋 設計図」－図面番号 118/130「石積高架橋 上部工架設要領図(参考図)」の平面図において、市道 2 号線に平行に配置が想定されているベント設備が 2 基ございます。ベント構造幅が不明ですので、想定されているベント構造幅をそれぞれご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
8	割掛対象表参考内訳書 P2 本工事における主桁地組用クレーンについて、割掛対象表参考内訳書の「工使用機械分解組立費 A」「工使用機械分解組立費 B」の数量内訳(参考)に記載のクレーン規格が全て主桁架設用クレーンの規格であることから、地組で使用するクレーンの規格は、主桁架設用クレーンの規格と同様と考えてよろしいでしょうか。異なるクレーン規格を想定されている場合、地組用クレーンの規格をご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に関する質問にはお答えできません。貴社の施工計画に基づきお考えください。
9	成田高架橋 設計図 図面番号 131/140、石積高架橋 設計図図面番号 118/130 本工事におけるベント設備設置撤去で使用するクレーンについて、各ベント設備設置撤去ごとに想定されているクレーンの規格をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき、必要なクレーン規格をお考えください。
10	成田高架橋 設計図 図面番号 131/140 成田高架橋の A2 橋台上の支承設置について、A2 橋台背面からクレーンでの支承設置は可能でしょうか。ご教示願います。	A 2 橋台背面からの設置は可能です。
11	成田高架橋 設計図 図面番号 131/140 成田高架橋の A2 橋台上の支承設置について、想定されている支承設置用クレーンの規格をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき、必要なクレーン規格をお考えください。

番号	質問事項	回 答
1 2	<p>割掛対象表参考内訳書 P2、 成田高架橋 設計図 図面番号 131/140、 石積高架橋 設計図 図面番号 118/130 割掛対象表参考内訳書の「工事用機械 分解組立費 A」「工事用機械分解組立費 B」の数量内訳（参考）より、成田高架 橋及び石積高架橋で使用する各クレー ンは、クレーン規格ごとに 1 回ずつの 分解組立輸送を想定されていると見受 けられます。各橋梁の上部工架設要領 図（参考図）では、架設ブロックごとに クレーン規格が異なり、また、分解組立 輸送がクレーン規格ごとに 1 回ずつで あることから、クレーンの待機が必要 になると思われますが、クレーンの待 機費用が生じた場合、設計変更協議の 対象と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書に関する質問に はお答えできません。</p>
1 3	<p>特記仕様書 P23、 成田高架橋 設計図 図面番号 131/140 特記仕様書 P23－「2 1－7－1 鋼構 造物の架設方法」より、成田高架橋の P3-P4 間は、架設時県道夜間通行止めと 拝察いたします。こちらは、「成田高架 橋 設計図」－図面番号 131/140「成田 高架橋 上部工架設要領図（参考図）」 の側面図に記載の P3-P4 間に該当する 架設ブロック＜⑰＞＜⑱＞＜㉑＞＜⑧＞ が夜間と考えてよろしいでしょうか。 異なる場合、夜間施工に該当する架 設ブロックをご教示願います。</p>	<p>成田高架橋で県道を夜間通行止めして 架設する架設ブロックは、上部工架設要 領図（参考図）に示す＜㉑＞＜⑧＞とな ります。</p>
1 4	<p>割掛対象表参考内訳書 P2 割掛対象表参考内訳書－「準備工事費」 の「架設ヤード整備費」について、想定 されている養生用敷鉄板の供用月数が 不明です。つきましては成田高架橋及 び石積高架橋の養生用敷鉄板の供用月 数をご教示願います。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書に関する質問に はお答えできません。貴社の施工計画に 基づき、必要な費用を計上してくださ い。</p>

番号	質問事項	回 答
1 5	成田高架橋 設計図 図面番号 125/140、 石積高架橋 設計図 図面番号 112/130 「成田高架橋 設計図」－図面番号 125/140 ならびに「石積高架橋 設計図」 －図面番号 112/130 の「中央分離帯転 落防止網工図」について、中央分離帯転 落防止網の材料表をご公表願います。	土木工事共通仕様書 1 5－2 「適用すべ き諸基準」に規定されている交通安全施 設・交通管理施設標準図集にある中央分 離帯転落防止網標準図集をご参照くだ さい。
1 6	成田高架橋 設計図 図面番号 125/140、 石積高架橋 設計図 図面番号 112/130 「成田高架橋 設計図」－図面番号 125/140 ならびに「石積高架橋 設計図」 －図面番号 112/130 の「中央分離帯転 落防止網工図」について、断面図では I 期線側に網の取り付けが想定されてい るように見受けられます。I 期線側の 取り付けに必要な費用は本工事に含ま れていると考えてよろしいでしょうか。 取り付けに必要な費用が見込まれて いない場合、設計変更協議の対象と 考えてよろしいでしょうか。ご教示願 います。	I 期線側の取り付けに必要な費用は本 工事に含まれています。
1 7	成田高架橋 設計図 図面番号 125/140、 石積高架橋 設計図 図面番号 112/130 「成田高架橋 設計図」－図面番号 125/140 ならびに「石積高架橋 設計図」 －図面番号 112/130 の「中央分離帯転 落防止網工図」について、施工時に足場 ならびに高所作業車は必要でしょうか。 必要な場合、足場と高所作業車のい ずれをお考えでしょうか。また、足場を 想定されている場合、足場の構造図が ございましたら、ご公表をお願いいた します。	貴社の施工計画に基づき、必要な費用を 計上してください。

番号	質問事項	回 答
18	成田高架橋 設計図 図面番号 138/140 「成田高架橋 設計図」－図面番号 138/140 について、P3-P4 間の河川上が「吊足場工（標準型側面）」となっております。河川上は防護型側面でなくてよろしいのでしょうか。ご教示願います。	設計図書に示すとおりです。
19	工事工程表 P2 工事工程表(概略工程表)の「架設工(石積高架橋)」ならびに「架設工(成田高架橋)」の「ベント設置・地組工・架設工」の備考欄に「期間内はベント設置」とございます。このため、各橋梁ベントの転用を考慮せずに、「土木工事積算基準(4週8休) 令和6年度版」－P15-35「表 6-9(5)係数 R5 一覧表」の係数 R5 は径間数に関わらず「1.000」を採用していると考えてよろしいのでしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社の施工計画に基づき、必要な費用を計上してください。